

Overseas Study Program

海外研修

昭和ポストン等への長期留学

ポストン15週間プログラムに参加すると、マサチューセッツ州ポストンにある昭和ポストンに滞在し、学ぶことができます。集中的な英語学習に加えて、アメリカ文化・歴史についての課外学習や地域の人々との関わり等を通して、グローバルな視点を養います。他にも、昭和女子大学の海外協定大学に留学できる交換認定留学制度等が用意されています。

[昭和ポストンHP]

<https://www.swu.ac.jp/global/boston/>



昭和ポストンの建物

ポストンサマーセッション心理学プログラム

ポストンサマーセッションの参加者は、夏季休暇期間に約4週間昭和ポストンに滞在します。そのうち心理学プログラムでは、臨床・発達・社会・教育・犯罪心理などを研究する大学の研究室や専門施設を訪問し、最先端の現場で活躍する研究者や専門職員の話をお聞きします。訪問前後に関連領域の講義を受けたりディスカッションを行いますので、単なる見学に留まらない体験的な学びが得られます。



Licensure & Certification

PICK UP! 取得できる資格

認定心理士・心理調査士

認定心理士とは?

「認定心理士」は、公益社団法人日本心理学会が認定する心理学の基礎資格です。4年制大学で心理学の標準的な基礎知識と基礎技能を修得していることを認定するものです。

心理調査士とは?

通称「心理調査士」(正式名称:認定心理士(心理調査))は、同じく日本心理学会が、調査・実験・観察・面接等の知識や技術を用いて、人の心や社会について理解する専門家であることを認定する資格です。

准学校心理士

准学校心理士とは?

学校などをフィールドとした心理教育的援助の専門家である「学校心理士」に準ずる資格です。

社会調査士

社会調査士とは?

「社会調査士」は、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場の動きを読み解き、社会事象等をよく理解できる「調査の専門家」です。

国家資格「公認心理師」(受験資格)*

公認心理師とは?

「公認心理師」は心理支援職初級の国家資格です。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働など多くの分野で活躍が期待されています。

※受験資格を得るには大学で必要な科目を修めて卒業し、かつ、大学院において必要な科目を修めて課程を修了することが基本となります。

※2024年3月に実施された第7回「公認心理師」国家試験では、本学心理学科卒業生の大学院新卒者合格率100%を達成しました。

心理学科で取得できる資格の詳細は学科オリジナルページの「取得可能な資格」をご覧ください。



あなたを
育てます。
あなたの力を

 **Communication**
理解しあう力

 **Logical Thinking**
人のこころと行動を科学的に理解する力

 **Teamwork**
問題意識をもち周囲と協力していく力

 **Problem Solving**
人や社会の問題に取り組む力

Department of
Psychology
昭和女子大学 人間社会学部
心理学科

Faculty of Human and Social Sciences
Showa Women's University

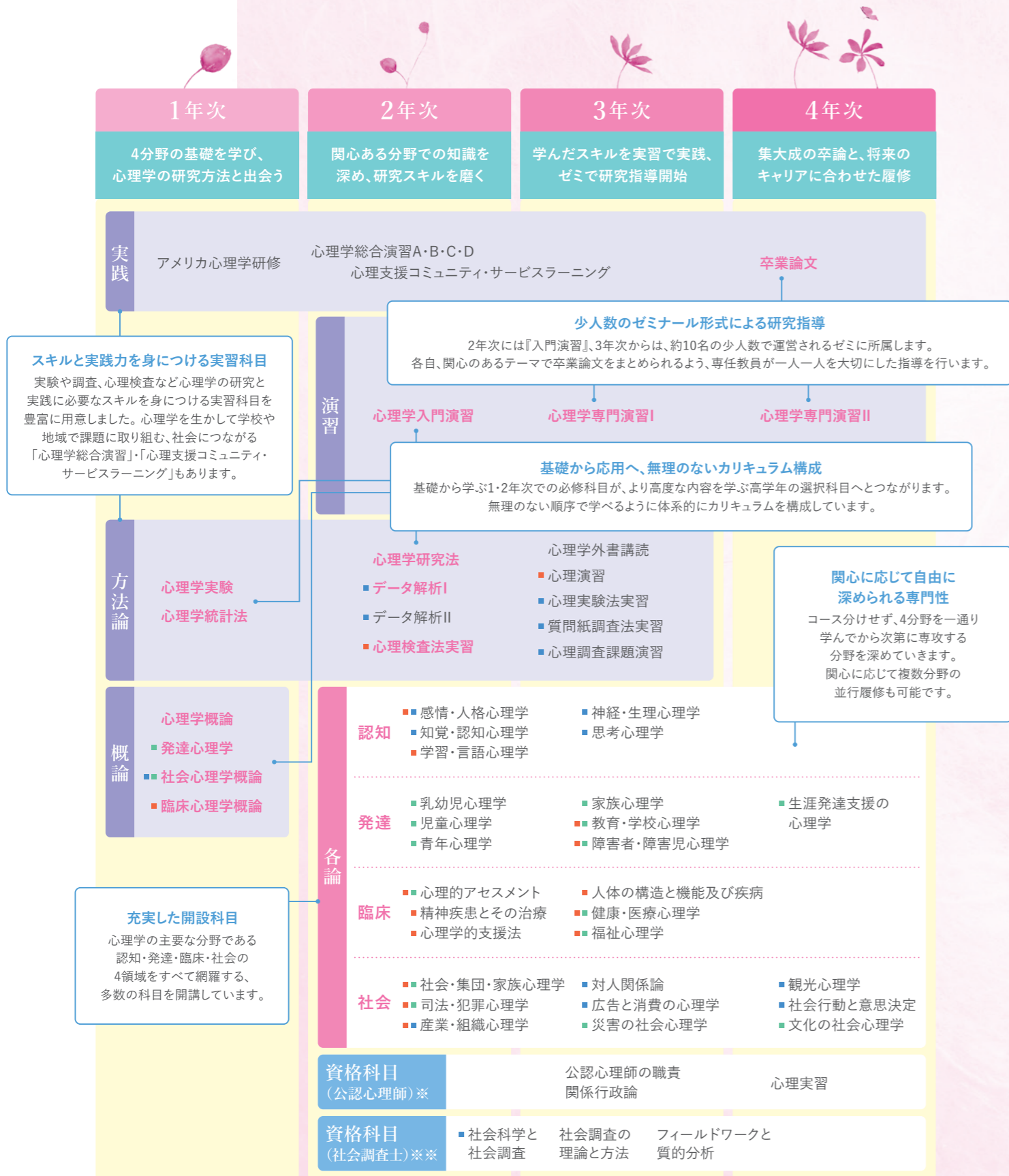
2025



国家資格「公認心理師」(受験資格)の養成カリキュラムに対応し、主要5分野(保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働)すべての施設で実習を行っています。

Features of Curriculum

カリキュラムの特色



注1:ピンク字の授業名は必修科目です。
 注2:公認心理師資格取得を目指す場合は、※欄の科目の他、学科開設科目のうち資格の指定科目を履修することが必要です。
 注3:社会調査士資格取得には、※※欄の科目の他、学科開設科目のうち資格の指定科目を履修することが必要です。
 注4:■はキャリア準備プログラム科目です。所定の科目を修得することにより、各プログラムが目標とするキャリアへの準備のための履修が完了したことを証明する修了証を発行します。
 ■ 心理支援基礎 ■ 生涯発達とコミュニティ ■ 消費行動と心理調査

Study for Career

就職率
100%
就職希望者に対する就職者の割合:2024年5月現在

キャリア準備プログラム

心理学を活かしたキャリア目標を立て、主体的な学びやキャリア形成につなげるために、3つのプログラムを設けています。各プログラムにおいて、それぞれが考えるキャリア目標に向けた資格の取得を目指すことができます。所定の科目(カリキュラム参照)を修めた人には修了証が発行され、就職活動等で活用できます。

プログラム名称	心理支援基礎	生涯発達とコミュニティ	消費行動と心理調査
コンセプト	人間の適応と成長を、心理学の専門知識・スキルを活かして支援する	人々が共生するコミュニティを創出し、心理学的なアプローチで貢献する	消費者や企業の意思決定において、心理調査に基づく効果的なコミュニケーションを実現する
キーワード	心理支援、カウンセリング 心理アセスメント、メンタルヘルス	生涯発達、コミュニティ、共生社会、 多文化共生、子育て支援、防犯・防災	消費行動、意思決定、心理調査と データ分析、広告とマーケティング
キャリア目標	心理支援専門職、心理専門職公務員 対人支援職、人事・研修など	教育・福祉関連 地域コミュニティ支援など	市場調査、広告・宣伝・広報 企画開発、営業・販売など
目指す資格例	(大学院進学を経て) 公認心理師、臨床心理士	社会福祉主事、児童指導員、児童福祉司 (以上、任用資格)、准学校心理士	社会調査士、心理調査士

卒業生の声

2019年度卒業

心理支援基礎プログラム

心理職として他機関と連携しながら子どもを支援しています

現在は面接や検査等を行いながら、子どもの支援に携わるお仕事をしています。心理学科では、どの分野においても基礎から丁寧に学ぶことができます。心理学科で学んだことは、子どもの支援のために心理職として何が出来るかを考えるにあたって役立っています。また、支援を行うにあたって他機関との連携が重要だと学びました。学校や病院、養護施設などあらゆる機関と協働していきながらも、心理職として主体的に支援に取り組めるように心がけています。

児童相談所勤務 (公認心理師・臨床心理士)*
吉田 有沙さん

*心理学卒業後、本学大学院心理学専攻臨床心理学講座を修了し、公認心理師および臨床心理士資格を取得しています。

2019年度卒業

生涯発達とコミュニティプログラム

心理学を学んだことで、多種多様なニーズに応えることができています

心のメカニズムを知ることで人の気持ちに寄り添い、問題解決の手助けをしたいという思いから心理学を選択しました。現在は区役所の事務職員として区民の方のご要望にお応えできるよう努めています。区役所の中にはさまざまな部署があり求められることはそれぞれ異なりますが、区民の方のご要望に寄り添えるよう、またご不安やご心配等を解消できるよう傾聴を心掛けております。区役所は多種多様なニーズに応える必要があるため心理学で学んだ「認知」「発達」「臨床」「社会」の4領域は強みになっています。

区役所勤務
関口 奏夏さん

2018年度卒業

消費行動と心理調査プログラム

消費者行動心理や統計学での学びが、私の「基」になっています

心理学科への入学理由は、漠然と「人の気持ちを知りたいから」でしたが、授業を受けるうちに「生活者の消費行動」×「調査データの分析/示唆・提言」に特に興味を持つようになりました。卒業後は広告代理店に入社し、BtoC企業のブランディング活動や商品販促企画の立案等に携わりました。現在はマーケティングリサーチャーとして、インタビューやアンケート調査を実施・データ分析を行い、企業のマーケティング活動をお手伝いしています。いずれも心理学科での学びとリンクしているため、私の基となっており、自信に繋がっています。

広告代理店系
マーケティングリサーチ
会社勤務
鈴木 紀穂さん